



街とともに。人とともに。  
FOR MORE COMMUNICATION  
警視庁

災害時こそ、  
キミの力が必要だ。

# 学生ボランティアに よろしく



© ブラックジャックによるしく 佐藤秀峰 漫画 onWeb

万が一の災害時に“自分に何ができるか”を考えてみよう！

災害に強い  
街づくり

避難者の  
受入れ・誘導

避難所等の  
運営・手伝い

子供、高齢者、  
障害者等への支援

被災家屋、  
施設等への支援

など

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。



# 災害時、地域を守るために「学生の力」が必要です。

～あなたも「学生ボランティア」として、地域の人々を守る人へ～



前話までのあらすじ

首都圏を襲う巨大地震の可能性を聞かされて戸惑いを隠せない斉藤。そんな斉藤に庄司は学生ボランティアへの協力をすすめるが…！

©ブラックジャックによるしく 佐藤秀峰 漫画 onWeb



「災害」は、いつ起きても不思議じゃない…

地震や津波だけでなく、豪雨や土砂災害、大雪や火山の噴火…。日本は、何度も大きな災害に襲われています。そうした中で、今、「首都直下地震」の発生が心配されています。政府の地震調査研究推進本部では、首都直下地震の発生確率を「30年以内に70%」と公表しており、いつ、どこで、大地震が発生してもおかしくありません。



「学生ボランティア」として、できることって何？

- 避難者の受入れ・誘導
- 避難所等の運営・手伝い
- 子供、高齢者、障害者等への支援
- 被災家屋、施設等への支援

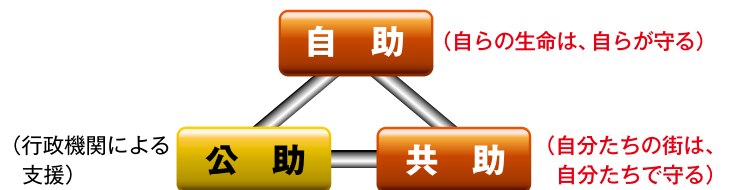
など、さまざまな場所や場面で役立つことができます。

日頃から、地域やみんなのために「自分に何ができるか」を考えてみてください。



「災害時」に、なぜ学生の力が必要なのか？

大きな災害の直後は、すべての地域に行政機関による支援を行うことには、限界があります。そのため、住民それぞれが「自助（自らの生命は、自らが守る）」「共助（自分たちの街は、自分たちで守る）」による対応が重要となります。そうした状況において地域防災力の向上のために、学生の力（学生ボランティア）が必要とされています。



など、さまざまな場所や場面で役立つことができます。

日頃から、地域やみんなのために「自分に何ができるか」を考えてみてください。